

1. 件名：火災回路解析に係る事業者との面談

2. 日時：令和4年3月1日（火）17：30～18：00

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 技術基盤グループ技術基盤課 佐々木企画調整官、片岡専門職、  
飯田係員

原子力規制部 原子力規制企画課 火災対策室 守谷室長

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ グループリー  
ダー ほか1名

東北電力株式会社 原子力部課長 ほか1名

東京電力HD株式会社 原子力運営管理部 防災安全G 課長 ほか3名

中部電力株式会社 原子力本部 原子力部 運営グループ 課長 ほか1名

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 原子力設備管理チーム 統括課長 ほか  
2名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力発電部門 保修管理グループ マネジャ  
ー

中国電力株式会社 電源事業本部（原子力運営） マネージャー ほか2名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 設備保全グループリーダー ほか2名

九州電力株式会社 原子力発電本部 安全設計グループ 副長

日本原子力発電株式会社 発電管理室 設備管理グループ 課長 ほか1名

電源開発株式会社 原子力技術部 設備技術室 室長代理 ほか1名

原子力エネルギー協議会 副長

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

- 原子力規制庁より、資料1に基づき、火災時安全停止回路解析に関わる米国事業者事象報告書の調査内容について事業者の説明し情報を共有した。
- 原子力規制庁より、事業者の対応状況について、令和4年度上期末を目処に、公開で意見聴取を行いたい旨依頼した。事業者より対応する旨発言があった。
- ATENAより、非常用ディーゼル発電機の連続運転試験実施時期について、資料2のとおり資料提出があった。
- ATENAより、審査実績を踏まえた規制基準等の記載の具体化・表現の改善 事業者意見・提案の抽出結果（R4年度計画）について、資料3のとおり資料提出があった。

6. 配布資料：

- 資料1 火災時安全停止回路解析に関わる米国事業者事象報告書の調査（案）  
（第51回技術情報検討会資料51-2-5）
- 資料2 非常用ディーゼル発電機の連続運転試験実施時期について
- 資料3 審査実績を踏まえた規制基準等の記載の具体化・表現の改善 事業者意見・  
提案の抽出結果（R4年度計画）